

就業構造基本調査について知ろう

みなさんは就業構造基本調査という統計調査をご存じですか？この調査は、国が行う統計調査の中でも特に重要な「基幹統計調査」にあたります。あまりなじみが無い調査かと思いますが、一体どんな調査であるのか、また私たちの生活にどのように役立つのか、紹介していきたいと思います。

どのような調査なの？

私たち国民の**就業状況**を明らかにすることを目的とした調査です。

例えば、正規・非正規雇用者の就業状況の違い、育児・介護と就業状況との関係などについて調査を行っています。

この調査は**5年ごと**に行われており、平成 29 年に続き、**令和 4 年が 18 回目の調査**となります。

何を調べるの？

まず、世帯員の男女の別・出生年月・普段の就業・不就業の状態といった基本事項をお聞きし、育児や介護の有無・頻度も併せてお聞きします。

次に、就業している人に対しては、雇用契約期間や業務内容など、**現在の就業状況**について詳しくお聞きします。

就業していない方に対しては就業の希望や、前職などについてお聞きします。

調査の対象は？

前回の平成 29 年調査では、総務省が無作為に抽出した指定地域内の 15 歳以上の世帯員約 108 万人が対象となりました。

調査対象となった世帯員の方には、統計法により報告義務が課されています。

回答方法は？

調査員が世帯に伺い、調査の回答に必要な書類を配布します。

調査対象となった世帯員は、**紙の調査票**での回答か、**インターネット**での回答を選択することが出来ます。また、スマートフォン・タブレット型端末からも御回答頂けます。

調査結果はどのように活用されているの？

国や地方公共団体における労働・雇用関連施策の基礎資料に利用されています。例としては、

- ・職業能力の開発や人材育成
- ・育児、介護・看護と就業の両立支援
- ・男女共同参画基本計画

などの行政施策があります。

また、大学や研究機関における学術研究にも利用されています。



「就業構造基本調査」でわかること ~H29 調査結果から~

仕事をしている人はどれくらいいるの？

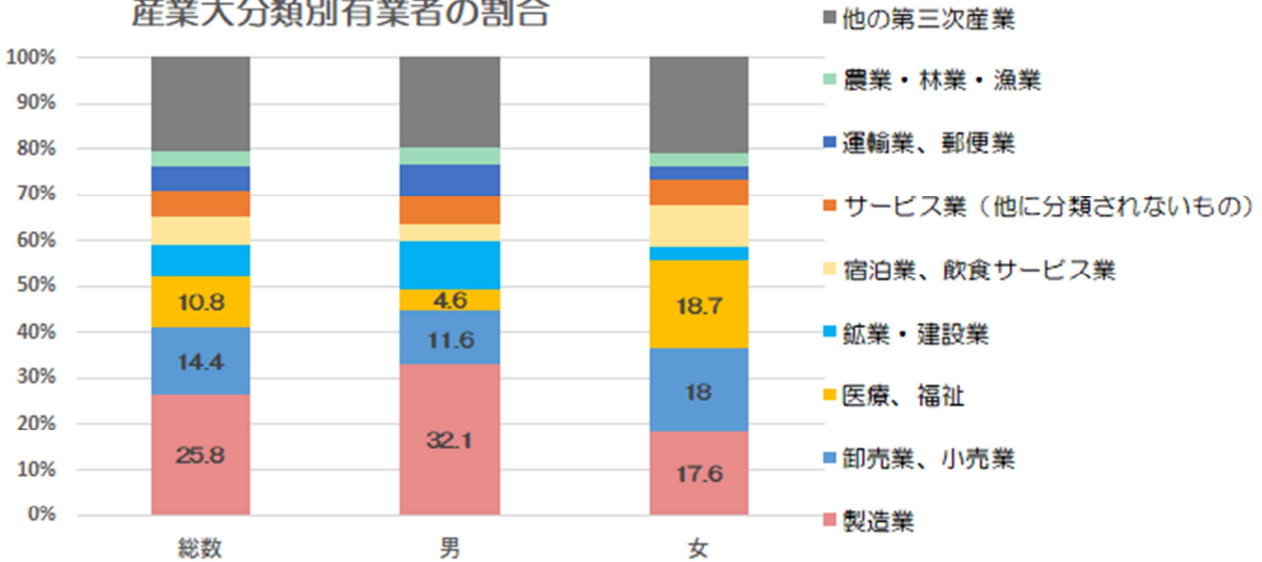
静岡県の有業率※は 60.7% で、全国第 10 位。

※有業率…15 歳以上人口に占める有業者の割合

何の仕事をしているの？

静岡県の有業者のうち、男性は「**製造業**」、女性は「**医療、福祉**」が最も多い。

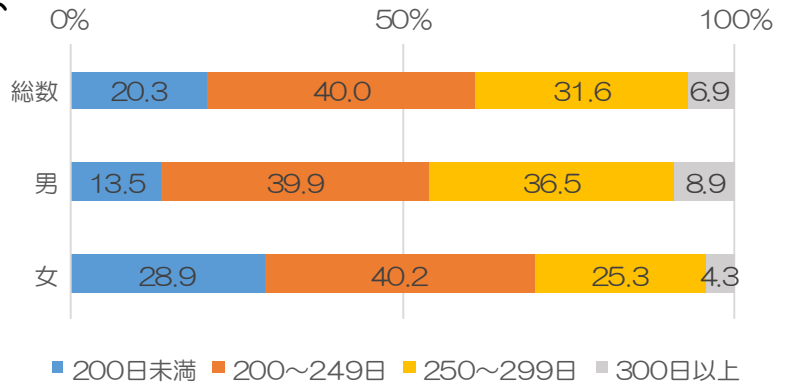
産業大分類別有業者の割合



どのくらいの日数仕事をしているの？

年間就業日数別で有業者の割合を見ると、
静岡県は、就業日数が **200~249 日** の人が最も多い。

年間就業日数別の有業者の割合



他にも…

- ・ 育児・介護をしている人の就業の状態
 - ・ 夫婦共働き世帯の就業の状態
- などが分かります。

みなさん、就業構造基本調査がどんな調査が分かりましたか？

この調査結果は、総務省統計局や、各都道府県のホームページから誰でも見ることが出来ます。

「統計センターしずおか」にも結果が掲載されておりますので、気になった方はさらに詳しく調べてみてはいかがでしょうか？

出典:「平成 29 年就業構造基本調査の概要、就業構造基本調査に関する Q & A」(総務省統計局 HP)

「平成 29 年就業構造基本調査結果」(総務省統計局 HP)

「平成 29 年就業構造基本調査静岡県の結果の概要」(統計センターしずおか)